

# 令和5年度全国学力・学習状況調査 分析

## 1 成果及び課題

### (1)【国語】

これまでに引き続き、全国平均を上回る正答率である。昨年度課題であった「書くこと」は、全国平均よりも高く、昨年度の結果を大きく上回る数値になった。これは、授業の中で自分の考えを文章にすることや、スピーチの授業で原稿を考えるなど、書く活動を多く取り入れたことがこのような結果につながったと考えられる。また、質問紙から「国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか」という項目で多くの生徒が肯定的な回答をしていることから、授業が日常へどう生きるか生徒たちが具体的にイメージできることがわかる。課題としては、「話すこと・聞くこと」に関する正答率が他と比べて低い傾向にある。普段からメモを取るなど「話す・聞く」習慣をつけていきたい。また、スピーチなどの話す活動を今後も積極的に入れていきたい。

### (2)【数学】

これまでに引き続き、全国平均を上回る正答率である。特に「図形」「データの活用」「グラフの読み取り」の正答率が特に高くなっており、昨年度よりも大きく上回っている。また、「記述式」の問題形式でも大きく全国平均を上回る結果となった。これは、「図形」「データの活用」の学習において、根拠を基に説明する活動を多く取り入れたため、このような結果につながったと考えられる。課題として、「数と式」「関数」の正答率が他と比べて低い傾向にある。今後は、活用問題だけでなく、基本問題にも力を入れ、特に基本的な作図の問題や面積の計算などを丁寧に行い、これまで以上に既習内容の確実な定着を図る必要がある。また、質問紙から「数学の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか」という項目で国語、英語に比べると、肯定的な回答が低かったため、授業が日常へどう生きるか生徒たちが具体的にイメージさせられるように授業を展開していきたい。

### (3)【英語】

全国平均を上回る正答率である。特に「書くこと」の正答率が高くなっている。また、「記述式」の問題についても全国平均を大きく上回る結果となった。これは、グループ活動等で仲間と共に課題解決を進めることや、授業後に振り返り活動を行うことで、自分の言葉で説明する機会を設けてきたことが関係していると考えている。また、質問紙から国語と同様に「英語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか」という項目で多くの生徒が肯定的な回答をしていることから、授業が日常へどう生きるか生徒たちが具体的にイメージできることがわかる。課題としては、「読むこと」の正答率が他と比べて低い傾向にある。今後は、書いたことを言葉にし、スピーチなどを積極的に取り入れていきたい。また、ALTと連携し、会話を増やしていきたい。

### (4)【質問紙調査】

生徒質問紙の「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」という項目、「自分には、よいところがあると思いますか」という項目で、多くの生徒が肯定的な意見を持っているが、「将来の夢や目標を持っているか」という項目で、他の項目と比べると否定的な回答が多い。このことから推測されることとして、学級活動・キャリア教育（職業人講話等）を通して、自らのよさを知り、将来、人の役に立ちたいと考えているが、具体的に考えられていない生徒が多いことがわかる。より具体的に将来をイメージできるよう

に指導していきたい。

学習については、昨年度同様、課題解決学習や小グループを活用した実践を行っていることが、授業の理解度に繋がっていると推察できる。生徒質問紙でも「学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」という項目で多くの生徒が肯定的な意見を答えていることからわかる。しかし、「学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか」という項目と「家で自分で計画を立てて勉強をしていますか」という項目で、他の意見と比べると否定的な回答が多い。授業後や単元の振り返りで、どの部分が苦手か自ら理解し、どのように自主学習に取り組んでいくか、具体的に考えられるよう指導していきたい。また、昨年度同様、授業で ICT 機器を使用することに大いに意味を見出していることが分かり、さらに授業で活用したいと考えていることが分かる。特に「学習の中で PC・タブレットなどの ICT 機器を使うのは勉強の役に立つと思いますか」の項目では、多くの生徒が肯定的に答えている。年々、生徒も職員も ICT 機器に慣れてきており、多様な方法で活用できるようになってきている。

## 2 改善目標及び具体的な手立て

### (1)【改善目標】

- ①国語：「話すこと・聞くこと」の問題の正答率を上げる。
- ②数学：「数と式」「関数」の問題の正答率を上げる。
- ③英語：「読むこと」の問題の正答率を上げる。

### (2)【具体的な手立て】

- ①自分の考えをまとめ、書く力を高める授業を多く取り入れ、それを言葉で表現できる機会を設け、その意見を聞いて、自分の考えを書く活動を増やす。
- ②現在の学習内容だけでなく、前単元の内容や昨年度までの既習事項などの復習を授業前に行う。定期テスト以外にも、単元テストを行うなど、既習事項の確認する機会を設ける。
- ③学習内容を日常生活でどのように活かすことができるか具体的に想像できるように授業展開を行う。
- ④ICT を活用し、概念のイメージ化や図示化を図るなど、生徒が理解しやすい授業展開を行う。